

第 89 回 あまみエフエム放送番組審議会

1. 開催日時 令和 4 年 5 月 26 日 (木) 19:30～
2. 場所 奄美市名瀬金久町 4 番 3 号 当法人会議室
3. 出席予定委員 7 名 (敬称略)

大谷 勲、後藤 美穂子、中村 由美、野元 剛二、
福崎 伸悟、元治 雅市郎、山根 篤大
(欠席 山田 一平)

あまみエフエム 6 名

麓 憲吾、渡 陽子、田畑 誠、東 蘭、宮澤 広也、菅野 優希

4. 議 題

(1) 審議

議題 1

「島の宝奄美っ子」

議題 2: その他、質問など。

事務局_渡

みなさん、よねやうがみんしょうらん。本日はあまみエフエムの放送番組審議会にご参加いただきありがとうございます。放送メディアの義務として、年に 6 回、番組と番組審議委員のみなさんのご意見を総務省に報告いたします。冒頭の司会は、あまみエフエムの渡が務めます。まず放送局長、また代表理事の麓憲吾よりご挨拶申し上げます。

事務局_麓

うがみんしょうらん。お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。渡からもありましたが、放送メディアは総務省から番組審議会が義務付けられており、この審議会は、放送内容や表現、テーマに関して幅広い立場の方々からご意見をいただく場です。総務省だけでなく、放送でも報告をし、向上していくことが目的です。みなさんもお承知の通り、既存のラジオ局の概念を覆すような“シマノリ”でやっておりますので、島ラジオのあり方に対して、忌憚のないご意見をいただきたく思います。また、日頃から皆様にご協力いただきまして、5 月 1 日で開局 15 周年を迎えることができました、ありがとうございます。県や市から行政支援をいただきながら、大和村においては大和村さんにご協力いただいてエリアカバーをしています。まだラジオが入らない地域もあるので、防災も含めて、技術の発展とその展開において解決していきたいと思っております。1 年間よろしくお願いいたします。

[スタッフ紹介、新委員の紹介。委員長・副委員長の選出では、全会一致により、後藤委員長、大谷副委員長に決定]

事務局_渡

それではこれより「島の宝 奄美っ子」という番組についての審議をお願いします。この番組は「ナキャワキャ島自慢」というコーナーと隔週で月曜日から土曜日まで、朝と昼に放送しています。シマジマの保育園や幼稚園で、子ども達にインタビュー形式で質問をし、島で愛情受けて育っている様子を紹介したいという思いで作っています。本日はこの番組について審議をお願いします。では後藤委員長、よろしくお願いいたします。

後藤委員長

それでは、今回の議題である「島の宝奄美っ子」についてです。お1人ずつ感想や意見などをお願いします。では最初に福崎委員よりお願いします。

福崎委員

自分は小さい集落の出身なので、出演できることを楽しみに家族で聞いています。電波から子どもたちの声が聞こえるというのは、本当に嬉しいことです。インタビュアーが子どもたちのペースに合わせているのも微笑ましい。僕はプライバシーも何もないところで育ったから気にならないが、仕事などを聞かれると困る人もいるのだろうなど。でもそれも良さなので、僕としてはそれを活かして欲しいなと思う反面、あまみエフエムに苦情がくるのは残念なので、バランスをどうとれるかが気になります。心情としてはぜひ、どんどんやって欲しいと思います。

後藤委員長

ありがとうございます。それでは元治委員をお願いします。

元治委員

自分は瀬戸内町にすることが多いため、あまみエフエムを聞くことが少ないですが、今回 CD を聞いて、子どもたちの流行りを知ることができるのがすごく新鮮に感じました。自分は子どもたちと話す機会が少ないので、これが流行っているのかとか、好きな食べ物はやっぱりカレーなのかとか、そんなことを思いながら聞きました。質問です。あれは全ての子どもが対象なのですか？それとも選ばれたメンバーが？

事務局_渡

年長児が取材対象で、全員に取材しています。欠席した場合には会えるまで取材を試みています。今はコロナで難しいですが、タイミングをはかって、先生達と連絡を取っています。

元治委員

最高ですね。親の立場からしたら、自分の子どもが出るっていうのが一番嬉しいことだと思うので、今後も楽しみに聞きます。ありがとうございます。

後藤委員長

それでは山根委員お願いします。

山根委員

この番組は個人の情報に踏み込むシーンもあって、私が島に来て一番衝撃を受けた番組です。でも逆に、それが許される環境で、これが島らしさなのだなというのを一番感じたところでもあります。バランスをとって、ぜひ残るといいと思っています。あと、私は子どもがいないので、年長さんがどれくらい話せるかイメージができないのですが、ある程度質問と答えが読めるところもあるので、さらに子どもたちのいいところを引き出す質問があってもいいのかなと思います。

後藤委員長

それでは大谷副委員お願いします。

大谷副委員

僕も一番はプライバシーのことが気になったが、そこが島らしさだなと。

事務局_麓

はい。島コミュニティだどご理解いただいているかと思いますが、現場では特に、子どもの家庭状況などを先生に伺いながらそのさじ加減を計っています。

大谷副委員

子どもの声が生き生きと感じ取れて、インタビューしている子の周りで遊び声の BGM が聴こえるのがいい。じいちゃん・ばあちゃんが聴いたらもっと喜ぶのだろうなと。すごく好きな番組なので、コンプライアンスの問題などで変に面白くなくなるよりは、少し尖ったままでいてくれると、ありがたいです。

大谷副委員

勝手に丸くなっていくのではなくて、それがコミュニティラジオなのかなと感じました。

後藤委員長

それでは、野元委員お願いします。

野元委員

この番組は聴いたことがあり、今回久しぶりに2回分聞いて、「お母さんが作ってくれるご飯」という言い方と、「お父さんとお母さんが作ってくれるご飯」という言い方を区別していて、「ちゃんと状況を把握して聞いているな」と思いました。また、ウクライナのことを思いました。子どもたちの夢を聴いて「こんな夢を持っているのだな。その夢を奪うようなことを大人は絶対してはいけない」と思いました。他には「マングースはもういなくなったから、ハブ取っているのか」とか「サンゴ取っていいのだけ？」とか。

事務局_麓

(山根委員に) どうなのですか？

山根委員

生きているサンゴはダメですね。

野元委員

ですよ。もしかしたら死んでいるサンゴなのかな。子どもは、将来は何になりたいですかと聞かれて「お金持ちになりたい」とかでも、「船を買いたいから」とちゃんと理由があって。「ジバニャンになりたい」には、「まだこれ流行っているのか」と思うなど、自分の硬くなっていく世界が、柔らかくなっていく感じがあって、ほのぼのしているし、いい番組だなと思っています。

後藤委員長

それでは中村委員お願いします。

中村委員

私を感じたのは、インタビュアーが質問の間で3回くらい子どもの名前を呼んでいることについてです。後ろで子どもたちが走っていて、インタビューを受けている子はそっちが気になるけど、名前を呼ばれて「ああ今聞かれている」というのが想像できますし。自分の子どももインタビューを受けた経緯があり、私は料理が苦手なので「なんて言うのかな」というドキドキ感もあり。それこそ、今回改めて番組を聞いてプライバシーのことを考えました。クレームが2件あり、大変だったと思いますが、私の住む地域では、住民の勤務時間や休日なども知っている中で、名瀬でもまだ許されているのかと。住用町にも親子留学とかIターンの方が増えてきて「そんなことまでするのですか」と言われたら、悪いことしているのかなと感じますが、逆に島ってそうなのか、それで許されるのかとわかってほしいなと思います。

後藤委員長

最後に私から。私は島から離れている間にあまみエフエムさんが開局して、帰ってきた頃には豪雨も終わっていて、あまみエフエムさんが定着していました。ラジオを聴いて一番驚いたのが、相手への踏み込み方。でもそれが島だよねと、納得しました。変わらないでほしいです。初めてこの番組を聞いた時は、陽子姉(事務局_渡)が質問していて、陽子姉は顔が広いのでお父さんの名前を聞いただけで「ばあちゃんあの人よね」ってなって子どももたくさん話してくれるし。こちらでも聞いたことあるような方が出たら「わあ」って思うし、そこがいいと思います。親戚でなくても家族のようなこのコミュニティを、聞いて感じるのがいいと思います。この番組はこれを伝えたい！とかではなく、聞いているうちに「わっ」と広がっていくような進行の仕方がとてもいい。今回は東さんがインタビュアーで、声も聞き取りやすく、子ども達も親しみをもって答えてくれるのだろうな、上手だなと思って聞きました。子どもも広がりをもって答えてくれるような子がいたり、質問の仕方があったりして「ああそうだよな」と思うので、そこを意識して放送にたくさん使ってもらえたらいい番組になっていくのだろうなという気がしました。

ひと通りみなさんからお聞きしましたが、他にも意見などはありますか？

事務局_麓 逆に現場からは？

事務局_東

私はこの番組を2~3年、担当しています。実は私の妹が、開局の翌年にこの番組に出演しており、家族にとっても身近な番組です。妹が20歳になった時に、家族に当時の音源を送ったらすごく喜んでいて。年長児を主に取材対象にしている、保護者の皆さんも節目のように感じてくださっていて、お子さんや知り合いの方が年長に上がると「取材いつくるの？」と聞いてくださります。保育所にとっても、保護者の方にとっても、その伝統が15年の中でできている事実が私にとっては心強くもあるし、責任も強く感じているところでもあります。プライバシーの問題に関しては、インタビューの前に先生から名簿を受け取ったり、家庭の事情を伺ったり、先生も一緒に取材に立ち会ってくれて、子どもが回答する際に耳打ちや修正をしてくれたりとか。そういった形で子どもたちのことをよく知る第一人者として、協力してくれています。その中で、どれだけ子どもたちが暮らしている様子を伝えられるかというのが私自身の課題でもあり、開拓していきたい部分です。そういったみなさんの想いを背負っているのだから、これからもぐいぐい聴いていきたいなと思っています。

後藤委員長

この番組は、満場一致で続けてほしいということでした。放送時間もちょうど通勤だったり、お昼休みだったり。おそらくいろんな番組の中でも、聴ける人が多い気がするのでたくさん盛り上がる場にももらいたいと思います。

大谷副委員長

話を聞いていて思いましたが、ディ!ウェイヴさんが15年やってきたからこそできることって、20歳になった子に音源を届けてあげることなのかな?と東さんの話を聞いて思いました。

事務局_麓

そうですね。

大谷副委員長

どのように届けるのかは、ホームページにアーカイブが載っているとか。教えてくれたらその音源を差し上げるとか。新しいものを生み出していく、プラス、積み重ねてきたものを出演者に届けるのがいいなと思いました。

事務局_渡

この番組に出た子が、結婚式で流したいなど、音源が欲しいという方がたまにいらっしゃいます。

事務局_麓

お祝い事もそうですけど、悔やみごともあって。亡くなった方の音源をお届けするというのもよくあり、輪廻している感じがいいなと感じています。

大谷副委員長

15年という経験があるからこそできることなのかなと思います。

事務局_渡

こないだ職場体験に来てくれた子がこの番組に出たことがあるということで、その音源を流すために急いでアーカイブを探しました。今後リストの整理を行い、聞きたいときにすぐに声を届けられるようにきちんと管理をしていきます。貴重なご意見ありがとうございます。ぜひ20歳になった子にお送りできればと思います。

大谷副委員長

積み上がってきているものを活かすことができるのがそういったことからなのかなと、東さんの話を聞いて思いました。

後藤委員長

以上で審議を終わり、事務局にお返しします。

事務局_渡

みなさま貴重なご意見を本当にありがとうございました。次回の審議会について、来月、6月30日木曜日の19:30から、この会議室で予定しております。音源をお持ち帰りいただき、来月またご意見をいただきたいと思います。ではこれもちまして第89回あまみエフエムの放送番組審議会を終了いたします。ありがとうございます。

5. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

次回審議会までに改善に努める

6. 審議会機関の答申又は意見の外用を公表した場合における、その公表の内容、方法及び年月日

- ① 自社放送：令和4年7月2日(土)
- ② 書面の備置き：令和4年7月2日(土)から、当該事項を記載した書面（議事録）を当法人事務局へ備置き、聴衆者の閲覧希望に対応
- ③ インターネット：令和4年7月2日(土)より当法人インターネットのホームページに転載

7. その他の参考事項 なし